

## 指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名		山梨県立県民の森保健休養施設									
指定管理者		(財)山梨県林業公社									
指定期間		平成18年4月1日～平成21年3月31日									
施設の使命・役割(運営目標)		展示や資料提供等を通じて、緑化思想や林業知識の習得、自然に親しみながら保健休養を図る場を提供すること。主催事業の実施を通じて、緑化思想や林業知識を習得する機会、自然に親しみながら保健休養を図る機会を提供すること。									
指定管理者が行う業務		施設の維持管理業務 森林科学館の運営業務 森林・林業の普及・啓発に関する業務 その他知事が必要と認める業務									
維持管理業務の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容							
		職員で実施可能な作業は、出来るだけ職員で実施した。各種点検による指摘事項や、緊急を要する修繕についても、迅速に対応した。		事業報告書及び現地確認などにより、計画のとおり適切に維持管理業務を執行したことが確認できた。今後も作業エリアマップの活用等により、より工夫ある維持管理に努めて頂きたい。							
運営業務の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容							
		主催事業においては、少人数ならではの工夫ある内容とすることにより、参加者からも好評であり、リピーターも多かった。また近年増加傾向にある福祉施設等の利用に際しては、館内へ車椅子をそのまま乗り入れられるように誘導する等、様々な利用者のニーズに出来る限り対応できた。さらに、本施設の公式ブログを開設後は、活動状況や周辺の自然情報等をリアルタイムに提供でき、ブログを見て来館する利用者も増えたため、今後さらに内容の充実を力を入れていきたい。		事業報告書及び現地確認などにより、計画のとおり適切に運営業務を執行したことが確認できた。受付接客についてもアンケート結果においても概ね好評であり、老人ホームの利用の際に、様々補助を行うなど、サービス向上に積極的に取り組んでいる。今後は県で施工した車椅子用のスロープや身障者用の駐車スペースを活用して、さらなるサービスを期待する。また平成19年度開設の本施設の公式ブログにおいては、毎日内容を更新する等、積極的に広報活動に取り組む姿勢がうかがえる。							
自主事業の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容							
		自主事業の結果を公表することにより、本施設の抱える問題や解決に向けての取り組みを地元自治体や利用者にアピールすることが出来、反響もあった。よって今後とも継続させていきたい。今後は、長期的な視点に立った調査活動を実施し、それによって得た結果に基づいた県民協働による保全活動につなげていきたい。		計画に沿って、積極的に実施されている。自主事業の料、内容ともに充実している。今後の本施設周辺の環境をより良くするための各種調査を実施し、結果を広く公表している点は、特筆するに値する。							
利用者満足度調査	調査結果	満足度		利用者の声							
	評価	満足93% 普通6% 不満1% 満足度評価値=93/(93+1)=99%		室内がきれいに清掃しており、展示も劣化していない。大人も子供も楽しく作品を作ることが出来た。スタッフの対応がとても親切で、気持ちよく過ごせた。							
利用実績	利用者数(森林科学館利用者数)	H18年度実績(人)	H19年度計画(人)	H19年度実績(人)	H20年度目標(人)						
	評価	10,251	8,500	10,791	8,700						
収支の状況		科目		H19年度計画額(円)		H19年度実績額(円)		差額(計画額-実績額)(円)		H20年度計画額(円)	
		収入	利用料金収入	無料施設	無料施設				無料施設		
指定管理料	14,756,000		14,756,000	0	15,109,000						
その他収入	152,000		331,648	-179,648	128,000						
計	14,908,000		15,087,648	-179,648	15,237,000						
支出	14,722,000	14,591,213	130,787	15,043,000							
差し引き(収入-支出)	186,000	496,435		194,000							
評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価							
		収入については概ね計画通りと考えている。支出の際には、今後の経費削減や利用者の利便性向上を熟慮した。		支出において、修繕費が計画よりも増加しているが、これは予算の範囲内で積極的に施設の修繕を行った結果であり、高く評価すべき点である。							
施設の運営目標の達成状況		施設の運営目標である、森林科学館入館者数及び主催事業参加者数とも前年度実績を上回っており、ともに設定した目標値についても達成できた。また、県民の森全体の利用者数についても前年度実績を上回っていた。今後、主催事業において、人数制限のない事業を複数日設定し、当施設の独自性をアピールすることにより、参加者数の増加が可能である。									
総合的な評価及び改善事項		全ての項目において、県の求める水準以上の管理運営が行われていることが確認できた。今後は、本施設の基本方針である「県民が恵まれた自然の中で緑に親しみ、人と自然との貴重なふれあいを体験する場を提供することにより、緑化思想の高揚及び林業知識の普及を図り、併せて県民の保健休養に資する」施設であることを念頭に置き、より県民に親しまれる主催事業、館内展示を目指し、施設の管理運営に努めて頂きたい。									